

STEVEN NEWELL

スティーヴン・ニューウェル 透明の叙事詩

スティーヴン・ニューウェル氏は、現代イギリスのガラス工芸界を代表する作家のひとりです。ヨーロッパに古くから伝わる、ガラス加飾技法では最高の熟練と技巧を要するグラヴィールと、20世紀以来の技法、サンド・ブラストによって、聖書やアメリカインディアンなどの伝説、そして自身の夢の世界を描き出してきました。本展は、ニューウェルが初期から取り組んでいる鉢や大皿などの作品を、日本の美術館としては初めて紹介するものです。

この新津にも、かつて石油採掘の副産物であった天然ガスを利用してのガラス製造の歴史があります。ガラスという身近な素材の表現世界における豊かな可能性を再発見するまたとない機会となるでしょう。

- 会期 11月17日(火)～2月14日(日)
- 会場 新津市美術館 展示室2
- 観覧料 一般 300円 大学・高校生 200円
中・小学生 150円

(20枚一括購入の場合20%引き)

「秋山庄太郎 花」展同時観覧の場合割引

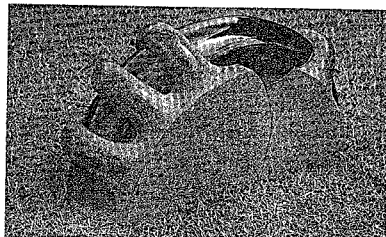
莊村清志ギターコンサート

9才よりギターを始め、1963年来日した巨匠ナルシン・イエペス氏の歓迎演奏会で氏に認められ翌1964年スペインへ。1968年に帰国し翌年デビューリサイタル。以来、北米、ヨーロッパ各地で旺盛な演奏活動を展開。1990年デビュー20周年リサイタルを行い、人気と実力を兼ね備えたギタリストとして活躍している。

- 期日 11月14日(土)
- 会場 新津市美術館
- 開場 午後2時30分(開演 午後3時)
- チケット 3,000円

お問い合わせ先

大坂医院 24-5122 または 甲田キミ 22-1390



原田 哲男 マドラスシリーズ

原田哲男氏は新津市出身で1973年以来パリを拠点として活躍している彫刻家です。その大規模な作品は、フランス各地はもとより、日本国内にも多く設置されており、最近では当館に隣接する新潟県立植物園に「地球を縫う」ことを主題としたエントランスモニュメント「四季」が造られています。今回は氏がインドのマドラスで現地の石を用いて制作した作品11点が美術館前庭に展示されます。小品ながら幾何学的な形態にどこか太古の記憶を呼び起こす作品群です。

- 会期 11月1日(日)～11月29日(日)
- 会場 美術館前庭
- 観覧料 無料

坂口文学資料展～偉大なる系譜～

新津が誇る文化人を輩出した坂口家にまつわる資料を一堂に展示しています。

五峰の死後、彼の金歯で造った金印「長相思」には献吉の父に対する思いがこめられています。献吉に宛てた会津ハ一の書簡も見えます。

- 会期 11月29日(日)まで(会期中無休)
 - 会場 新津市石油の世界館 2階
 - 観覧料 300円(中学生以下無料)
- ※「坂口安吾蔵書目録」(500円)も販売中!

▼美術館開館時間 午前10時～午後5時 入館四時半まで
▼臨時休館のお知らせ 十一月九日(月)から十六日(月)まで展示替えのため休館します。

▼休館日 毎週月曜日 ※市展開催中は休館しません。
▼お問い合わせ 新津市美術館 電話 二五・一三〇一